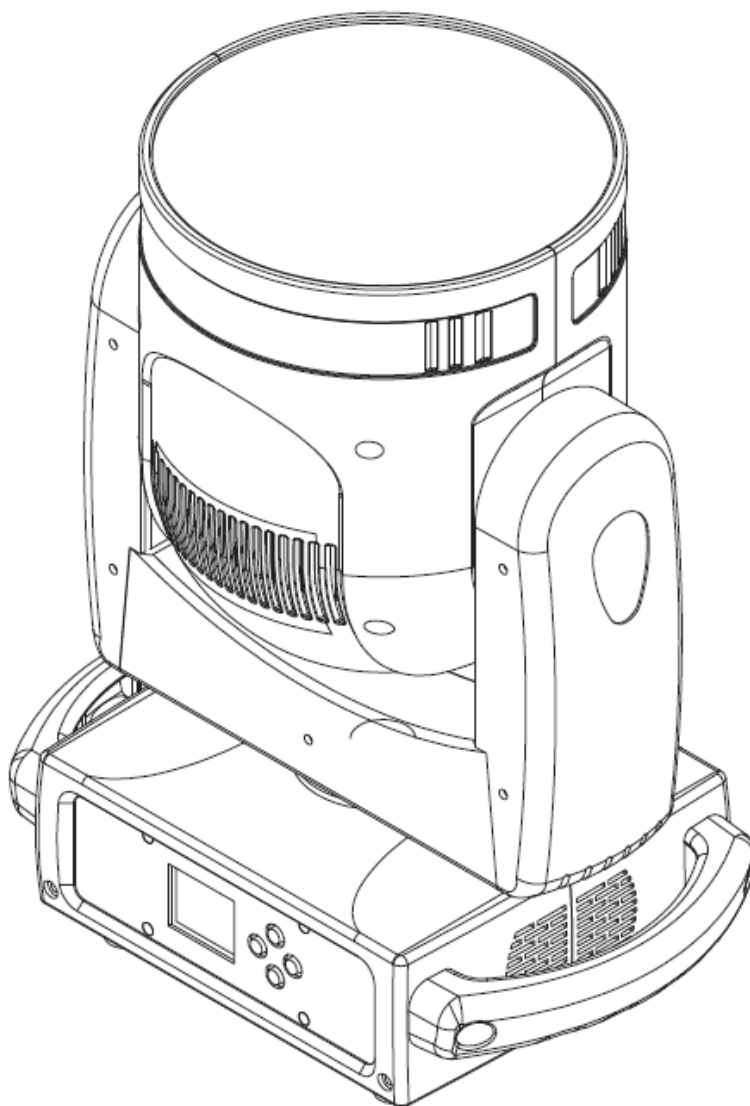


ELIMINATOR[®]

LIGHTING



STRYKER MAX

User Manual



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はELIMINATOR LIGHTING の STRYKER MAX をご購入頂き、誠にありがとうございます。
STRYKER MAXは40W RGBW LED 6個 と 0.5W RGB LED60個を装備したムービングヘッドです。
本製品を安全に末永くご利用いただくため、ご使用いただく前に、この取扱い説明書をかならずお読みください。

基本仕様

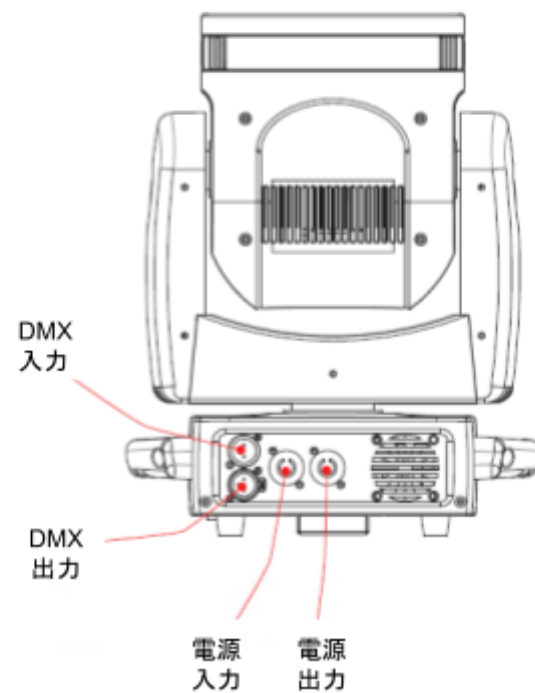
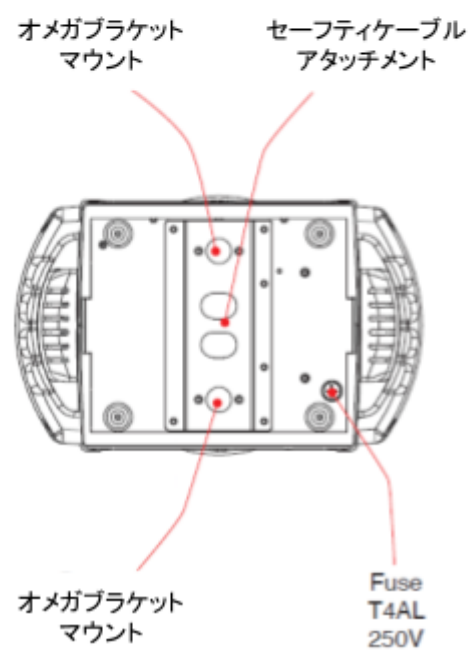
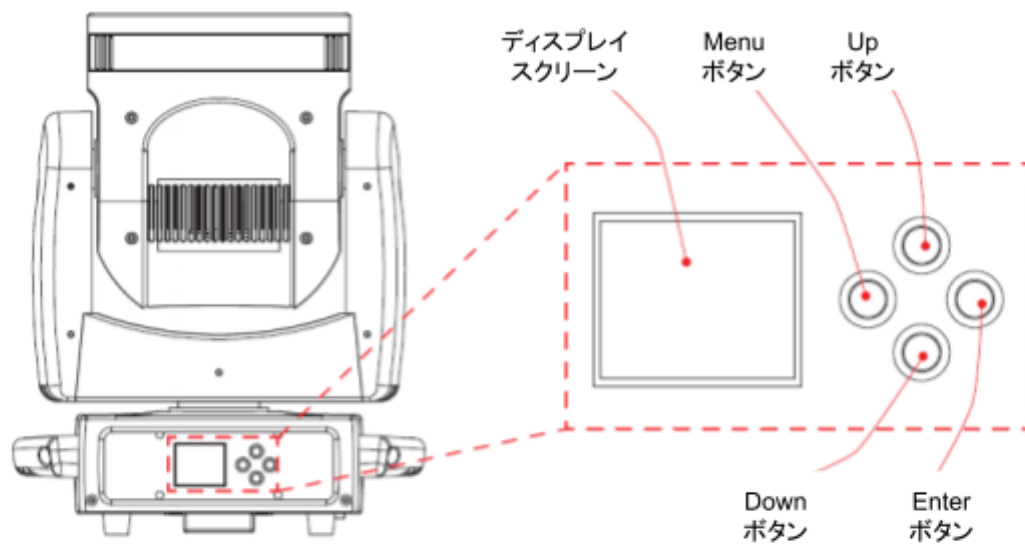
- ・ DMX 入出力 3PIN XLR
- ・ 6 x 40 W RGBW LED
- ・ 60 x 0.5 W RGB リング LED
- ・ 2DMX チャンネルモード (20チャンネル / 26チャンネルモード)
- ・ 4 - 55 度 ズームレンジ
- ・ PAN 540度 / TILT 190度
- ・ DMX512, プライマリ・セカンダリ、オート、サウンドアクティブモード
- ・ RDM対応
- ・ LCDディスプレイ
- ・ IP20

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。
3. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
4. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
5. 本製品を他の機材と接続する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
7. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
8. ディマーパックからの電源供給は行わないでください。
9. 本体カバーを外さないでください。
10. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
11. 周辺温度が 45度を超える環境では使用しないでください。
12. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
13. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
14. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
15. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
16. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
17. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
18. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

故障が生じた場合は販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

各部の名称



設置について



器具の取付、設置、移動、撤収は専門家がおこなってください。

設置に関する注意事項:

- 取付作業は、地域の電気工事および建築に関する法令、規則、および規格に準拠して行ってください。
- 器具を取り付けるトラスや設置面は、器具本体とアクセサリの重量の10倍に耐えられる強度が必要です。変形しないことを確認してください。
- 器具には、適切な定格の安全ワイヤーなどの二次的な安全装置を必ず取り付けてください。
- 金属製のトラスや構造物に単一の器具を取り付ける、または器具を任意の表面に設置する前に、必ず専門の設備業者に相談して、金属製のトラスや構造物、または設置面が、器具、クランプ、ケーブル、およびアクセサリの総重量に安全に耐えられるように適切に認定されているかどうかを確認してください。

使用環境:

- 使用環境の最高周囲温度は45℃です。
- 器具は、通路、座席エリア、または許可されていない者が手などで器具に届く可能性のある場所から離して設置してください。

取扱いに関する注意事項:

- 器具の吊り上げ、取り外し、または保守点検を行う際は、絶対に器具の真下に立たないでください。
- 上部への器具取り付けには、常に二次的な安全装置（適切な定格の安全ワイヤーなど）で固定してください。

設置要件:

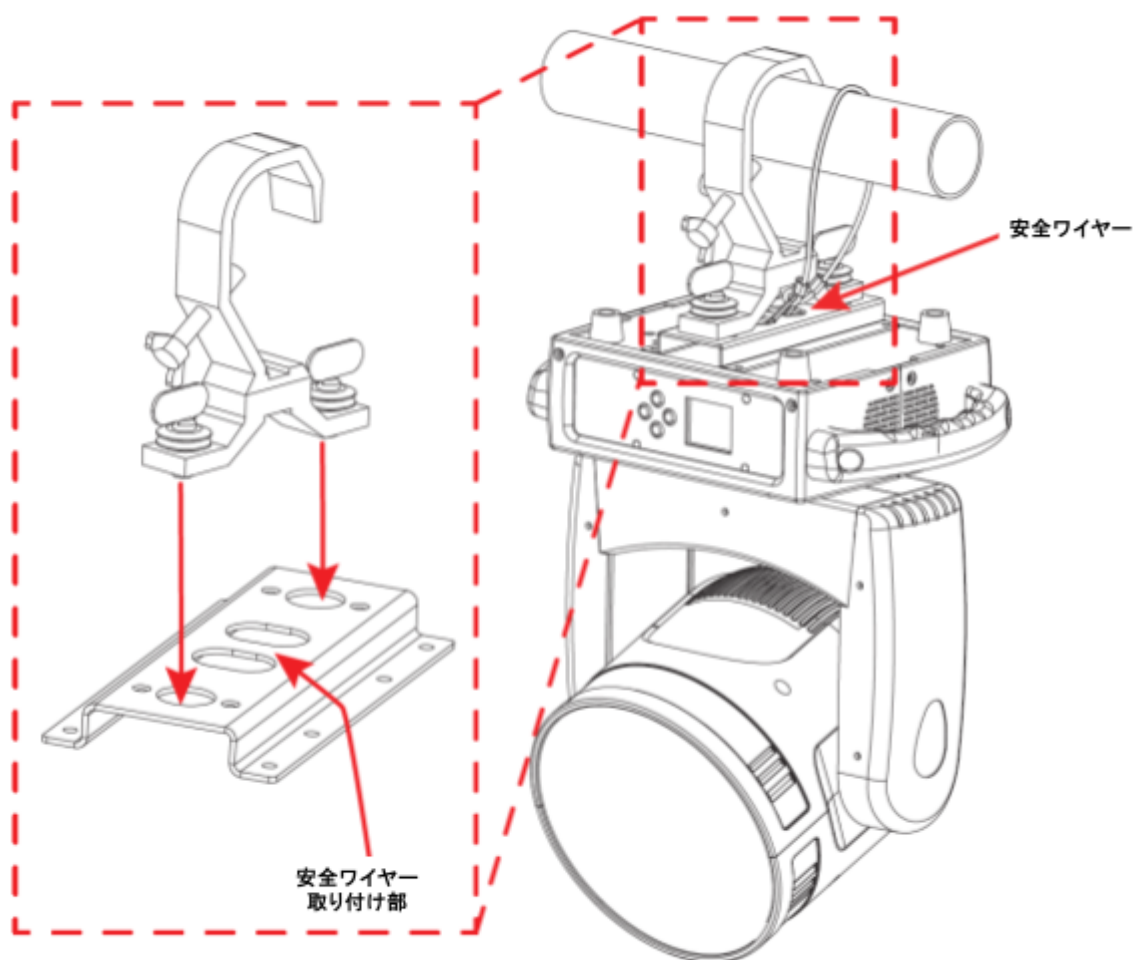
- 取り付けには、荷重限界の計算、使用する取り付け材料の知識、およびすべての取り付け材料と器具自体の定期的な安全点検を含む、広範な経験が必要です。これらの資格がない場合は、自分で取り付けを試みないでください。

定期点検:

- 設置後、年に1回は、専門家による点検をおこなってください。

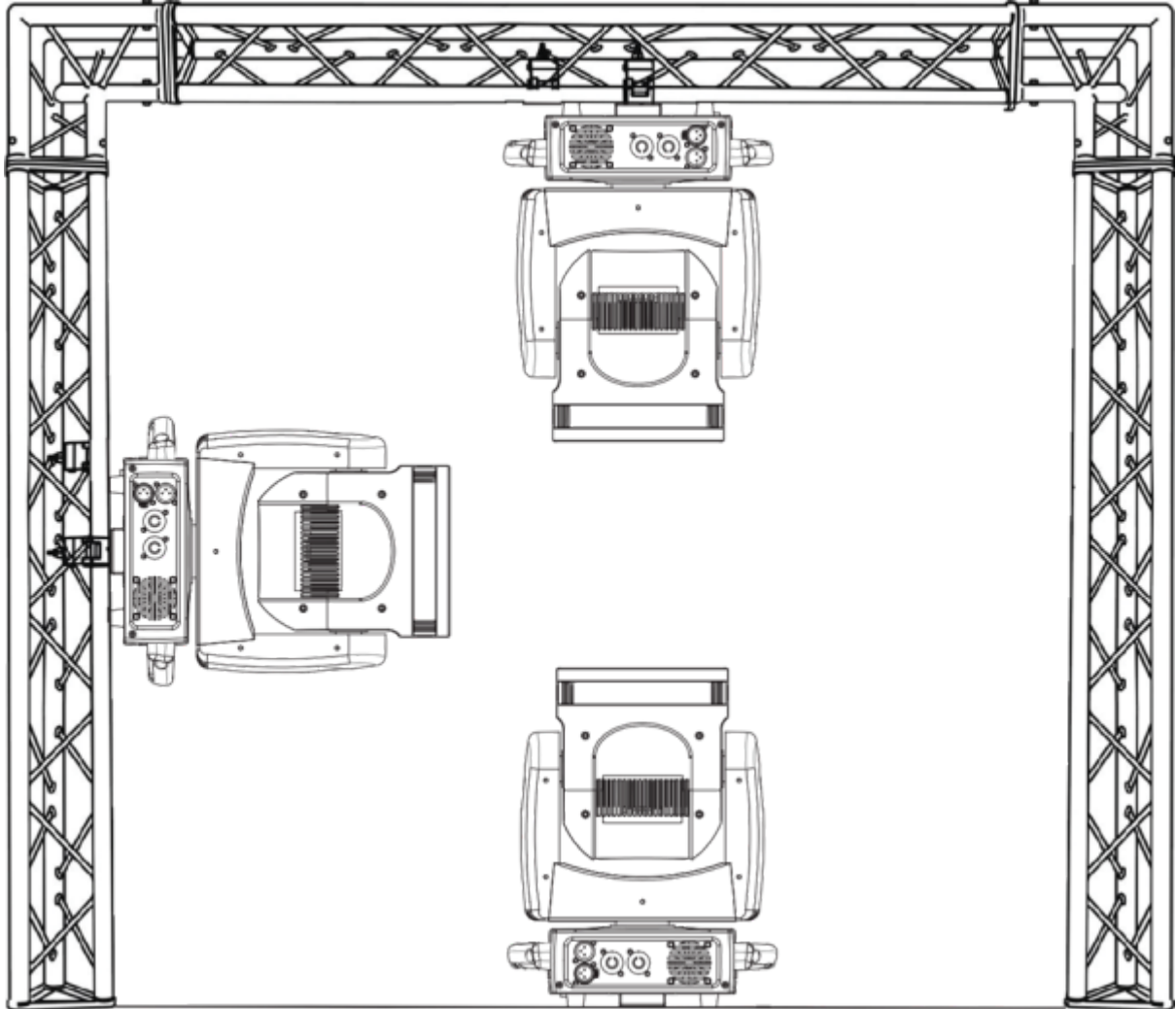
クランプの取り付け

本製品には、オメガブラケットを取り付けるための取り付け穴がベースの下側に設けられています。このユニットをトラスに取り付けるには、適切なサイズのナットとボルトを使用してオメガブラケットにクランプを取り付けます。次に、オメガブラケットのツイストロックファスナーを器具の下側にある取り付けレールの外側の穴に挿入し、回転させてクランプを所定の位置に固定します（以下の図を参照）。ブラケットの中央部分の取り付けポイントに、適切な定格の安全ワイヤーを取り付けてください。



高所に設置する際は、必ず安全ワイヤーを取り付けてください。クランプが故障した際に器具が落下することを防止します。

天井やトラスから逆さまに吊り下げる、トラスに横向きに取り付ける、平らな水平な面に設置する、など、3つの異なる取り付け位置で使用することができます。この器具は、可燃性物質(装飾品など)から少なくとも12m(40フィート)離して保管してください。クランプが故障した場合に機器の損傷や怪我を防止するために、安全対策として必ず安全ケーブル(別売)を使用してください。



落下すると器具の損傷や重大な怪我を引き起こす可能性があります。設置や点検は必ず専門家が行ってください。

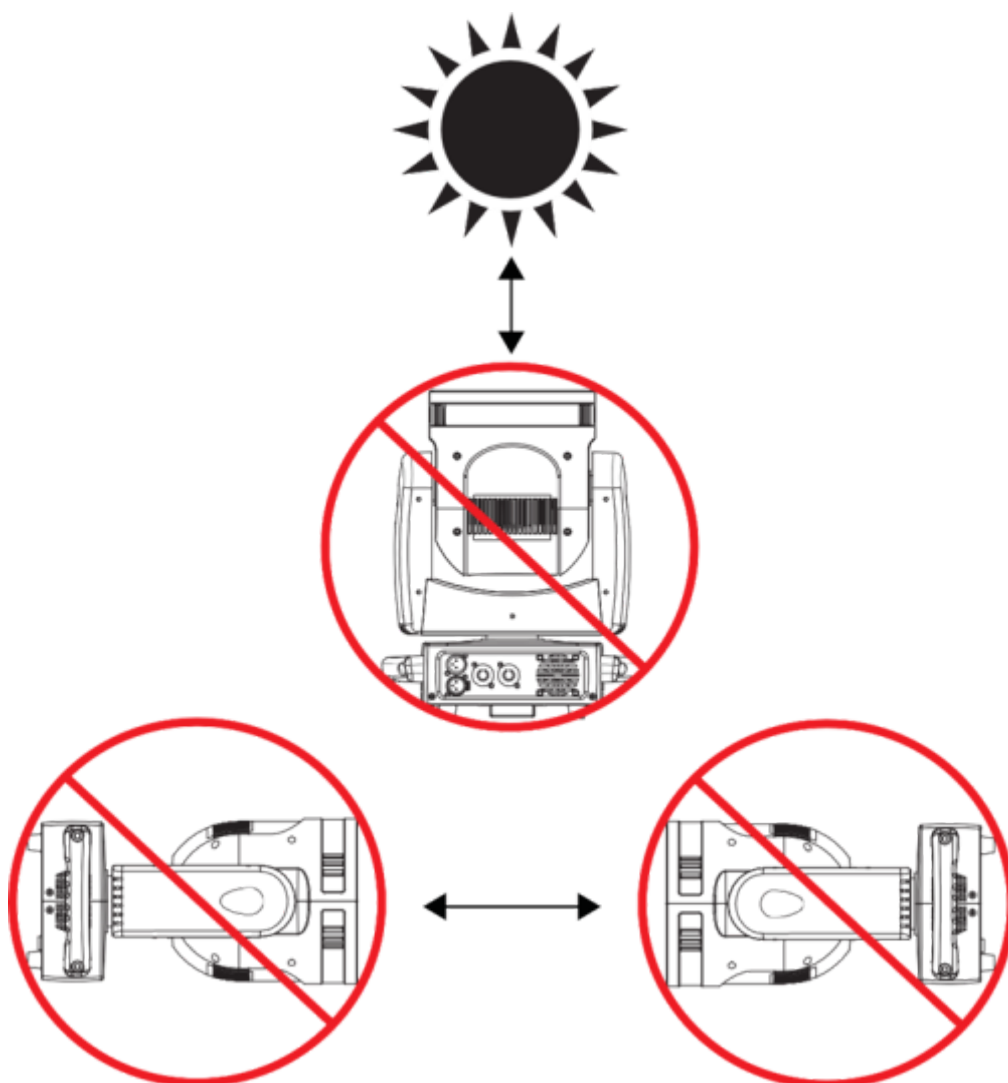


高所に設置する際は、取り付け器具が外れても照明器具が落下しないように、安全ケーブルを必ず取り付けてください。

外部光源について

外部からの光線（直射日光、照明、ムービングヘッドフィクスチャー、レーザーなど）が、本製品の外装に直接向けられたり、フロントレンズの開口部を通じて内部に侵入したりすると、光学部品、ダイクロイックカラーフィルター、ガラスや金属製のゴボ、プリズム、アニメーションホイール、フロストフィルター、アイリス、シャッター、モーター、ベルト、配線、放電ランプ、LEDなどに深刻な内部損傷（焼損など）を引き起こす可能性があります。この問題を完全に防ぐ方法は存在しませんが、以下の点に注意することで潜在的な損傷のリスクを軽減することができます。

開梱や設置、使用中、または屋外で長時間使用しない場合、照明器具やフロントレンズの開口部を直射日光や他の照明器具、ムービングヘッド、レーザーの光線に当てないでください。また、1つの照明器具から出る光を別の照明器具に直接向けないようにしてください。



REMOTE DEVICE MANAGEMENT (RDM)

注記: RDMを正常に機能させるためには、DMXスプリッターやワイヤレスシステムを含め、システム全体でRDM対応の機器を使用する必要があります。

リモートデバイスマネジメント(RDM)は、DMX512をもとに構築されたプロトコルであり、照明器具のDMXシステムをリモートで変更および監視することを可能にします。このプロトコルは、アクセスが困難な場所に設置された機器の設定、監視に適しています。

RDMを使用すると、双方向通信が可能となり、RDM対応のコントローラーが接続されたデバイスに信号を送信、応答することができます(GETコマンドと呼びます)。コントローラーはSETコマンドを使用して、通常は機器のディスプレイ画面で行う設定をリモートで変更することができます。

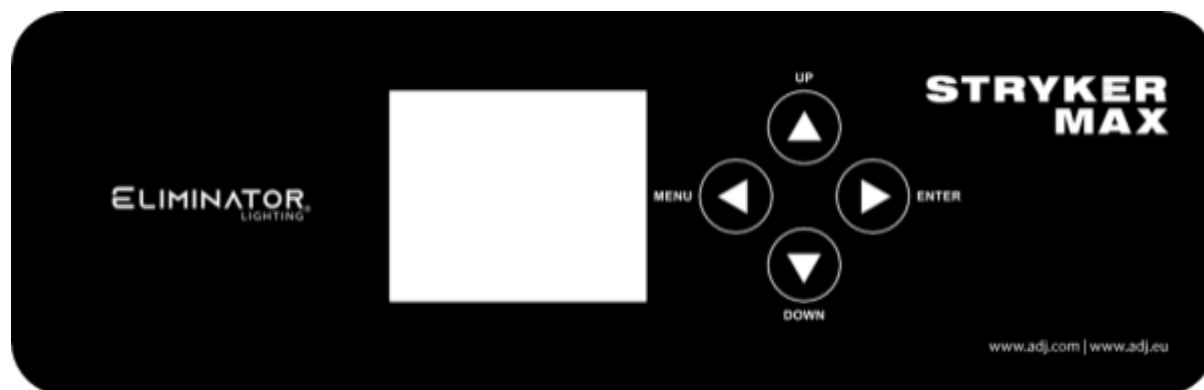
RDM情報

RDM Code	Device ID	Device Model ID	Personality ID
0x1997	Random	0x0001	CH20 (1) CH26 (2)

すべてのRDM機器がすべてのRDM機能をサポートしているわけではないため、必要な機能が含まれているかどうかを事前に確認することが重要です。

[0x0200] Sensor Definition	[0x0601] Tilt Invert
[0x0201] Sensor Value	[0x0602] Pan Tilt Swap
[0x0080] Device Model Description	[0x0500] Display Invert
[0x0081] Manufacturer Label	[0x0501] Display Level
[0x0082] Device Label	[0x0603] Real Time Clock
[0x00E0] DMX Personality	[0x1010] Power State
[0x00E1] DMX Personality Description	[0x1031] Preset Playback
[0x0400] Device Hours	[0x0120] Slot Info
[0x0015] Comms Status	[0x0121] Slot Description
[0x0031] Status ID Description	[0x0122] Default Slot Value
[0x0032] Clear Status ID	[0x00B0] Language
[0x0401] Lamp Hours	[0x00A0] Language Capabilities
[0x0402] Lamp Strikes	[0x00C2] Boot Software Version Label
[0x0403] Lamp State	[0x00C1] Boot Software Version ID
[0x0404] Lamp On Mode	[0x0070] Product Detail ID List
[0x0405] Device Power Cycles	[0x0030] Status Messages
[0x0600] Pan Invert	

コントロールパネル



MENUボタンを押すと、メインメニューの項目が順番に切り替わります。画面に選択したいメインメニューの項目が表示されたら、ENTERボタンを押してサブメニューに進みます。その後、UPボタンとDOWNボタンを使ってサブメニューの項目をスクロールできます。場合によっては、さらに別のサブメニューが表示され、その場合も同様に操作できます。

システムメニュー

DMX SETTINGS	Address	001 – 512		DMXアドレス
	Mode	20 Ch		チャンネルモード
		26 Ch		
	No DMX	Hold		DMX信号が途切れた際、最後に受信した設定を保持
		Program		DMX信号が途切れた際、設定された内蔵プログラムで動作
		Sound		DMX信号が途切れた際、サウンドモードで動作
PERSONALITY	Pri / Sec Mode	Primary / Secondary		Primary・Secondaryモードの設定
	Aria Settings	Set Aria Band	2.4 GHz	使いません
			Subgig (US)	
			Subgig (EU)	
		Aria 2.4GHz Channel	00 – 15	使いません
		Aria Subgig Channel	00 – 09	使いません
		Mesh	Off / On	使いません
		Bluetooth Enable	Off / On	使いません
	Pan Invert	No / Yes		Pan 反転
	Tilt Invert	No / Yes		Tilt 反転
	P/T Correction	Off / On		Pan・Tilt補正
	Display Reverse	No / Yes		ディスプレイ反転
	Target Mode	Off / On		ターゲットモードON/OFF
	Sound Sensitivity	000 – 100 (default = 010)		サウンドアクティブ感度設定
	Reset	Yes / No		システムリセット
	Factory Restore	Yes / No		工場出荷時の設定に初期化
	Calibration	Password = 018		キャリブレーション
		Pan	000 – 255	

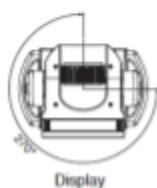
		Tilt	000 – 255	
		Zoom	000 – 255	
		Rotate	000 – 255	
		Red	000 – 255	
		Green	000 – 255	
		Blue	000 – 255	
		White	000 – 255	
RUN MODE	Program	Internal Program 1	ターゲットモードのプログラム選択	
		Internal Program 2		
		Internal Program 3		
		Internal Program 4		
		Internal Program 5		
		Internal Program 6		
		Internal Program 7		
		Internal Program 8		
	Program Speed	1 – 10 (default = 5)	プログラムスピードの設定	
MANUAL MODE	Pan	000 – 255	マニュアルセッティング	
	Pan fine	000 – 255		
	Tilt	000 – 255		
	Tilt Fine	000 – 255		
	Red	000 – 255		
	Green	000 – 255		
	Blue	000 – 255		
	White	000 – 255		
	CCT Presets	000 – 255		
	Color Macros	000 – 255		
		...		
	Shutter	000 – 255		
	Dimmer	000 – 255		
	Dimmer Fine	000 – 255		
	Pan / Tilt Speed	000 – 255		
	Reset	000 – 255		
SYS INFO	On Time	xxH xxM	電源投入時からの稼働時間	

	Total Time	xxxxxH xxM	総稼働時間
	Firmware Version	Vx.xxx	ファームウェアバージョン
	Running Mode	DMX xx Ch	選択されているDMXチャンネルモードの表示
	Temperature	xxx° F	温度表示

ターゲットモード

ターゲットモードは、照明機器のパンおよびチルトの動きを、事前定義された範囲に制限します。ユニットをターゲットモードで動作させるには、まずシステムメニューの「Personality > Target Mode」に移動し、「On」を選択してください。その後、システムメニューの「Run Mode > Program」に移動し、実行したいターゲットモード設定を選択します。各ターゲットモードのパラメーターは、下図に示されています。さらに、選択したターゲットモードの動作速度を調整することもできます。

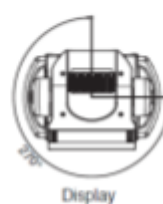
MODE 1 Pan Movement Range=270°



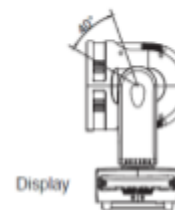
Tilt Movement Range=40°



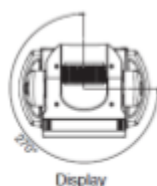
MODE 5 Pan Movement Range=270°



Tilt Movement Range=40°



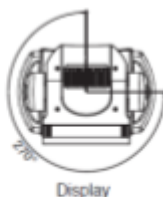
MODE 2 Pan Movement Range=270°



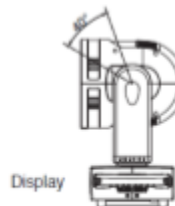
Tilt Movement Range=40°



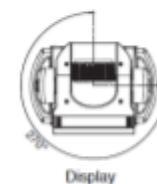
MODE 6 Pan Movement Range=270°



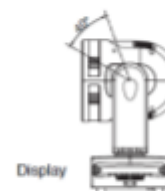
Tilt Movement Range=40°



MODE 3 Pan Movement Range=270°



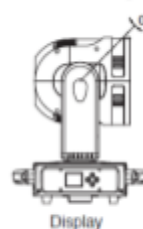
Tilt Movement Range=40°



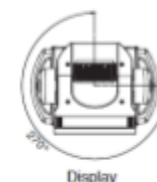
MODE 7 Pan Movement Range=0°



Tilt Movement Range=0°



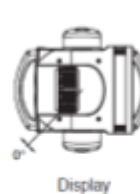
MODE 4 Pan Movement Range=270°



Tilt Movement Range=40°



MODE 8 Pan Movement Range=0°



Tilt Movement Range=0°



DMXセットアップ

DMX-512について

DMXは「Digital Multiplex」の略称です。これは、インテリジェントな照明機器とコントローラー間の通信に使用されるプロトコルです。DMXコントローラーは、コントローラーから機器へDMXデータを送信します。DMXデータは、すべてのDMX対応機器に搭載されている「DATA IN」および「DATA OUT」のXLR端子を介して機器間をシリアルデータとして伝送されます。

DMXリンクについて

DMXは異なるメーカーのさまざまな機種を1つのコントローラーに接続し、操作できるようにする通信プロトコルです。すべての機器およびコントローラーがDMXに対応している限り、リンクが可能です。DMXデータを正しく送信するためには、複数のDMX機器を接続する際、ケーブルの長さをできるだけ短くすることをお勧めします。DMXライン内で機器が接続される順序は、DMXアドレス設定に影響を与えません。たとえば、DMXアドレスが1に設定された機器は、DMXラインのどこに配置されても構いません。先頭でも末尾でも、または途中のどこにあっても、問題ありません。DMXアドレスが1に設定された機器がある場合、DMXコントローラーはDMXライン内のどこに機器があっても、アドレス1に割り当てられたデータをその機器に送信します。

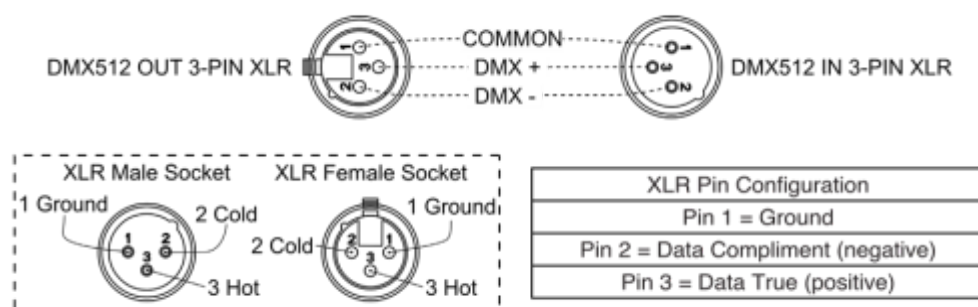
データケーブル(DMXケーブル)の要件(DMX操作用)

本製品はDMX-512プロトコルで制御可能な、2つのDMXモードを備えています。詳細は本マニュアルの「DMX特性」セクションをご参照ください。DMXアドレスは、機器背面パネルのコントロールを使用して設定できます。この機器とDMXコントローラーには、データ入出力用の3ピンXLRコネクターが必要です。ケーブルは標準の110～120オームのシールドケーブルを使用してください。ケーブルには、片方にオスのXLRコネクター、もう片方にメスのXLRコネクターを取り付ける必要があります。また、DMXケーブルはデジチェーンで接続します。



注意:

ケーブルを作成する際は、以下の図を参照してください。XLRコネクターのグラウンドラグを使用しないでください。また、ケーブルのシールド導体をグラウンドラグに接続したり、シールド導体がXLRコネクターの外装に接触したりしないようにしてください。シールドを接地すると、短絡や不安定な動作の原因となる可能性があります。



ライン終端について

ケーブルの配線が長くなる場合は、最後の機器に終端器(ターミネーター)を使用してください。終端器をデジチェーンの最後の機器のメスXLRコネクターに接続してラインを終端することにより、不安定な動作が発生する可能性を低減します。

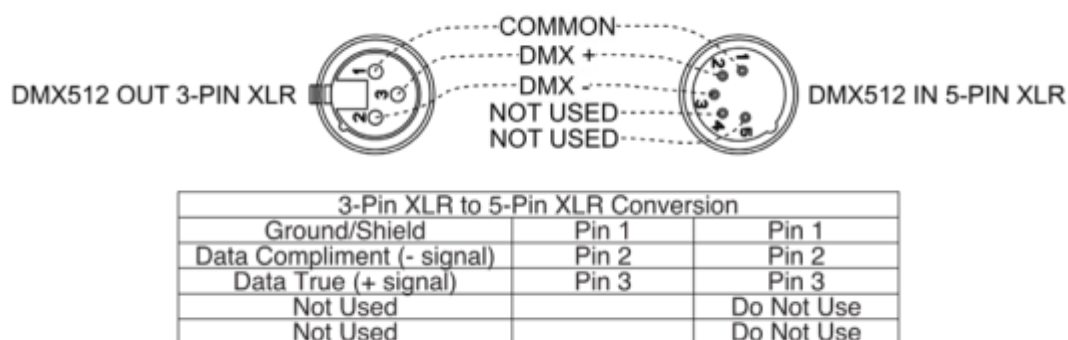


DMX512ターミネーターについて

DMX512ターミネーターは信号の反射による干渉を防ぎエラーを減少させる役割を果たします。DMX512ラインを終端するには、最後の機器のピン2(DMX-)とピン3(DMX+)を、120オーム、1/4ワットの抵抗を直列に接続してください。

5ピンXLR DMXコネクターについて

一部のメーカーは、データ送信に5ピンのDMXケーブルを使用しています。5ピンDMX機器は、5ピンから3ピンへの変換アダプターケーブルを使用することで、3ピンDMXラインに統合することが可能です。



DMXアドレス設定について

DMXコントローラーを使用する際、各機器にはDMXスタートアドレスを設定する必要があります。これにより、正しい機器が正しい制御信号に応答ようになります。このデジタルスタートアドレスは、DMXコントローラーから送信されるデジタル制御信号を機器が「受信」し始めるチャンネル番号を意味します。スタートアドレスは、機器のデジタルコントロールディスプレイで正しいDMXアドレスを設定することで割り当てられます。

アドレス設定のオプション:

- **同じスタートアドレスを設定:** すべての機器または機器グループに同じスタートアドレスを設定すると、すべての機器が同じように動作します。つまり、1つのチャンネル設定を変更すると、すべての機器が同時にその変更に従います。
- **異なるスタートアドレスを設定:** 各機器に異なるDMXアドレスを設定すると、それぞれの機器が設定されたチャンネル番号から信号を受信し始めます。この場合、1つのチャンネル設定を変更しても、影響を受けるのは選択された機器のみです。

例:

この機器が**20チャンネルモード**で設定されている場合、次のようにDMXスタートアドレスを設定します:

- 1台目の機器: スタートアドレスを**1**に設定
- 2台目の機器: スタートアドレスを**21**($1 + 20$)に設定
- 3台目の機器: スタートアドレスを**41**($1 + 20 + 20$)に設定
- 4台目の機器: スタートアドレスを**61**($1 + 20 + 20 + 20$)に設定

この方式を繰り返すことで、各機器が正しいチャンネル番号から信号を受信するように設定できます。

Channel Mode	Unit 1 Address	Unit 2 Address	Unit 3 Address	Unit 4 Address
20Ch	1	21	41	61
26Ch	1	27	53	79

DMX特性

チャンネル		DMX値	機能
20Ch	26Ch		
1	1	000 - 255	Pan, 8-bit, 0° - 540°
	2	000 - 255	Pan Fine, 16-bit
2	3	000 - 255	Tilt, 8-bit, 0° - 190°
	4	000 - 255	Tilt Fine, 16-bit
3	5	000 - 255	赤
4	6	000 - 255	緑
5	7	000 - 255	青
6	8	000 - 255	白
	9	000 - 255	Hue
	10	000 - 255	Saturation
	11		CCT Presets
		0	No Function
		001 - 027	2800K
		028 - 055	3200K
		056 - 083	3600K
		084 - 111	4500K
		112 - 139	5000K
		140 - 167	5600K
		168 - 195	6200K
		196 - 223	6800K
		224 - 251	7500K
		252 - 255	8500K
7	12		カラーマクロ
		0	Off
		001 - 255	Color Macros, Macro 1 - Macro 255
8	13		Effect
		0	Effect Off
		001 - 100	Wave
		101 - 200	Dream
		201 - 255	Color Chase
9	14	000 - 255	Glory Red
10	15	000 - 255	Glory Green
11	16	000 - 255	Glory Blue

12	17	000 - 255	Glory Dimmer
13	18		Glory Effect
		000 - 015	Glory Effect close
		016 - 035	Glory single LED effect
		036 - 055	Glory 3pcs LED effect
		056 - 075	Glory 6pcs LED effect
		076 - 095	Glory 12pcs LED effect
		096 - 115	Glory 3pcs LED-4 modules effect
		116 - 135	Glory 6pcs LED-4 modules effect
		136 - 155	Glory 4 modules effect
		156 - 175	Glory loop fill effect
		176 - 195	RGB 3 colors rainbow effect
		196 - 215	RGB 3 colors effect
		216 - 235	Glory rainbow effect
		236 - 255	Glory segment effect
14	19	000 - 255	Glory Speed
15	20	000 - 255	Zoom, minimum to maximum
16	21		Inner Rotate
		000 - 127	Positions
		128 - 190	Clockwise, fast to slow
		191 - 192	Stop
		193 - 255	Counter-clockwise, slow to fast
17	22		Shutter
		000 - 003	Off
		004 - 127	Strobe, slow to fast
		128 - 191	Pulse Strobe, slow to fast
		192 - 251	Random Strobe, slow to fast
		252 - 255	Open
18	23	000 - 255	Dimmer, 0-100%
	24	000 - 255	Dimmer Fine, 16-bit
19	25	000 - 255	Pan/Tilt Speed, fast to slow
20	26		Reset
		000 - 021	Off
		022 - 025	No Function
		026 - 076	Reset Effect (hold 3 sec)
		077 - 128	Reset Pan/Tilt Motor (hold 3 sec)
		129 - 255	Reset All (hold 3 sec)

カラーミキシングに関する注意事項

本製品には4種類のカラーミキシングモードが搭載されており、優先順位に基づいて動作します。優先順位の高いモードが、低いモードを上書きする仕組みになっています。以下に優先順位の高い順にモードを示します：

1. **Hue / Saturation(色相/彩度)**
 - 色相と彩度を直接調整して、色を設定します。
2. **Color Macro(カラーマクロ)**
 - プリセットされた色の組み合わせを選択します。
3. **CCT Preset(色温度プリセット)**
 - 色温度(Correlated Color Temperature)をプリセットから選択します。
4. **RGBW**
 - 赤(R)、緑(G)、青(B)、白(W)の各色を個別に調整します。

優先順位が高いモードをアクティブにすると、下位のモードの設定は無効になります。適切なモードを選択して目的のカラーミキシング効果を実現してください。

プライマリ・セカンダリモード

プライマリ・セカンダリ設定機能について

この機能を使用すると、機器をリンクして**プライマリ・セカンダリ構成**で動作させることができます。この構成では、1台の機器が制御用(プライマリ)として機能し、他の機器はその制御機器の内蔵プログラムに従って動作します。

- **プライマリ(Primary):**
制御を担当する機器。プログラムを実行し、他の機器に信号を送ります。
- **セカンダリ(Secondary):**
プライマリ機器に同期して動作する機器。独自の動作は行わず、プライマリ機器の信号に従います。

注意事項

- 任意の機器をプライマリまたはセカンダリとして設定できます。
- ただし、1つのシステム内で**プライマリとして動作できるのは1台のみ**です。複数の機器をプライマリに設定すると、動作が不安定になる可能性がありますので注意してください。

この設定を使用することで、複数の機器を簡単に連動させ、統一された演出効果を実現できます。

接続と設定方法

以下の手順に従って、機器をデジチェーン接続し、プライマリ・セカンダリ構成を設定します。

1. デジチェーン接続

- 各機器の背面にある**XLRコネクタ**を使用して、データケーブルで機器を接続します。
- **最初の機器(プライマリ):** メスXLRコネクタのみ使用します。
- **最後の機器:** オスXLRコネクタのみ使用します。

2. システムメニューで設定

- 各機器のシステムメニューで、**Personality > Pri/Sec Mode** に移動し、**ENTER**を押します。

3. プライマリ・セカンダリの設定

- **UP**および**DOWN**ボタンを使用して各機器をプライマリまたはセカンダリとして設定します。

注意: 1つのシステム内でプライマリとして設定できるのは**1台のみ**です。他のすべての機器はセカンダリーに設定してください。

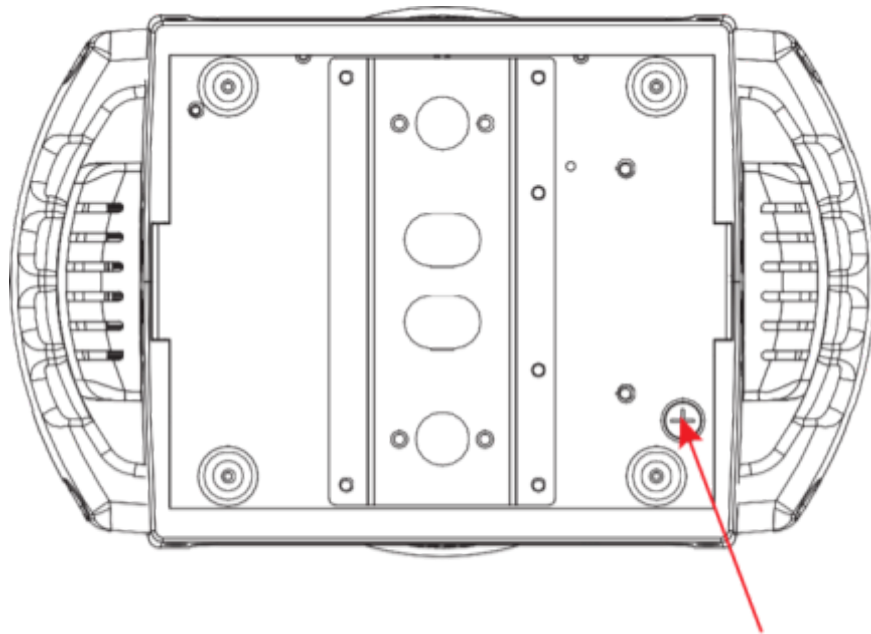
4. プライマリ機器の設定

- プライマリ機器に戻り、必要なプログラムや設定を行います。
- セカンダリ機器は、プライマリ機器のプログラムに同期して動作します。

この手順を実行することで、複数の機器が効率的に連動し、一貫したパフォーマンスを実現できます。

ヒューズの交換

電源から切り、電源コードを取り外してください。ヒューズは機器の底面にあります(下図を参照)。不良ヒューズを取り外し、新しいヒューズと交換してください。交換時は、必ず同じ**T4AL 250V**規格の新しいヒューズを使用してください。



Fuze ボックス

クリーニング

機器を最適な状態に保つためには、定期的にクリーニングを行う必要があります。

清掃手順

1. 外部の清掃
 - 通常のガラスクリーナーと柔らかい布を使用して、外装と外部の光学部品を拭き取ります。
2. 完全に乾燥させる
 - 清掃後、すべての部品が完全に乾いていることを確認してから、機器を再度接続してください。

清掃頻度について

清掃の頻度は、機器が使用される環境(例: スモーク、フォグの残留物、ほこり、露)によって異なります。環境に応じて適切なタイミングで清掃を行ってください。

製品仕様

光源 (Light Source)

- ・ LED数: 6 x 40W Quad (RGBW) LEDs
- ・ LEDリング: 60 x 0.5W RGB LEDs

主な機能 (Features)

- ・ モーターズーム: 4° ~ 55°
- ・ LEDリングを使用したエフェクト作成
- ・ 可変色温度: 2800K ~ 8500K
- ・ 内蔵カラーマクロ & エフェクト
- ・ スムーズな調光: 0~100%
- ・ 可変スピードのストロボエフェクト
- ・ 高速かつ正確なパン & チルト動作

制御 (Control)

- ・ DMXチャンネルモード: 20チャンネルまたは26チャンネル
- ・ 動作モード: DMX512 / プライマリ・セカンダリ / 自動運転 / サウンド / RDM
- ・ LCDメニューディスプレイ

接続 (Connections)

- ・ DMX入出力: 3ピンDMX In/Out
- ・ 電源接続: ロック機能付き入出力コネクション

パン/チルト (Pan/Tilt)

- ・ パン範囲: 540°
- ・ チルト範囲: 190°
- ・ 16ビットファインパン
- ・ 16ビットファインチルト

電気仕様 (Electrical)

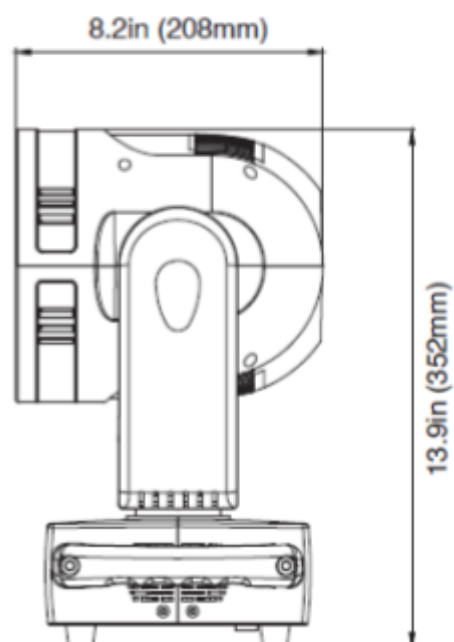
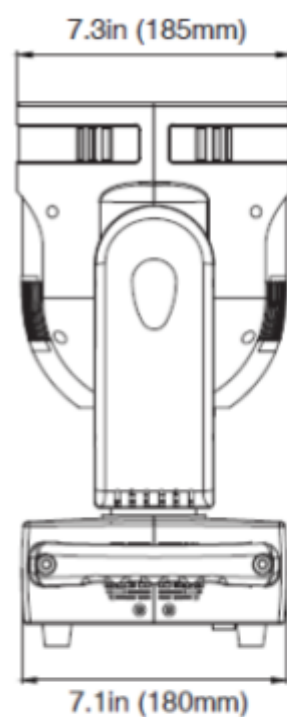
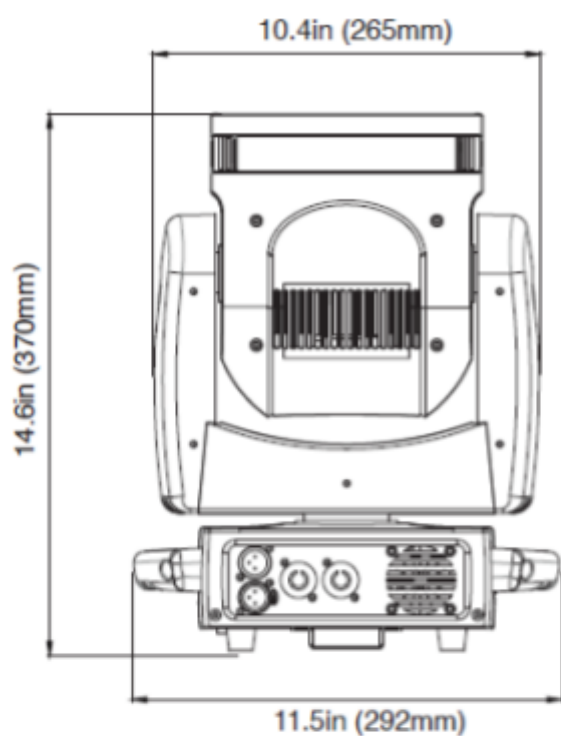
- ・ AC100V 50/60Hz
- ・ 最大消費電力: 260W

寸法 & 重量 (Dimensions & Weight)

- ・ 寸法 (LxWxH): 370mm x 292mm x 180mm
- ・ 重量: 7.5 kg

仕様は予告なく変更される場合があります。

寸法図



ELIMINATOR[®]
LIGHTING